

令和6年度第3回
聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議資料

第3期総合戦略の構成の検討について

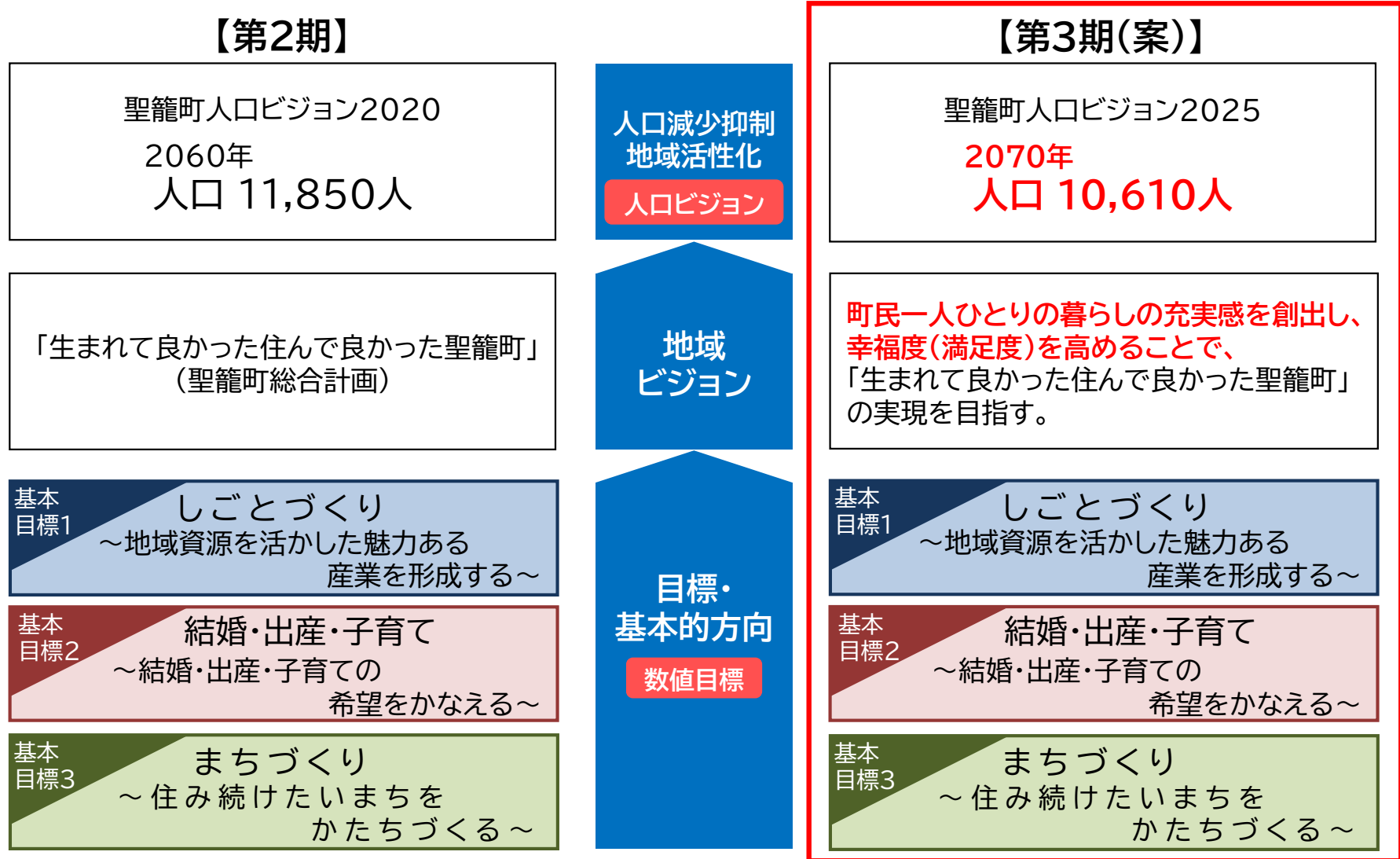
- (1) これまでの検討を踏まえた課題整理
- (2) 第3期総合戦略(案)
 - ① 体系図
 - ② 名称と計画期間
 - ③ 基本目標と数値目標

聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議事務局

(1) これまでの検討を踏まえた課題整理

当初検討事項	人口ビジョン(目標人口)	<ul style="list-style-type: none"> 人口構成の変化(少子高齢化、若年層流出、外国人の増加)への対応 →人口動態の傾向は5年前と概ね同様であり、この状況を維持していくための施策を盛り込む
	現行総合戦略における課題	<ul style="list-style-type: none"> 社会情勢、町民ニーズ等を踏まえて総合戦略のスキーム(3つの基本目標等)の見直し
	デジタル化への対応	<ul style="list-style-type: none"> 国のデジタル田園都市国家構想総合戦略への対応
	生きがい健康づくり事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> 今後町で積極的に推進していく施策として、数値目標等を含めて総合戦略への位置づけを検討
町民ニーズ	地域幸福度(Well-being)アンケート 居住アンケート	<ul style="list-style-type: none"> 「移動・交通」に関する満足度が低く、特に自動車を運転できない住民(小・中・高校生、高齢者)への支援が必要 「デジタル生活」の客観指標が低く、行政によるデジタル利活用が進んでいない
	デジタル化アンケート	<ul style="list-style-type: none"> 窓口手続きのデジタル化を求める声が多い(オンライン申請、住民票のコンビニ交付、キャッシュレス決済など)

(2) 第3期総合戦略(案) ①体系図



※ 階層は総合戦略作成の手引き(国)による。

Point



- ✓ 地域幸福度(Well-Being) 指標は中間・最終の効果検証に活用
- ✓ 課題解決の手段として各施策においてデジタル利活用を検討

国

まち・ひと・しごと創生総合戦略(R2年度～R6年度)

【基本目標】

- ① 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする
- ② 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
- ③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 人が集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

【横断的目標】

- ① 多様な人材の活躍を推進する
- ② 新しい時代の流れを力にする

デジタル田園都市国家構想の実現に向け、
計画期間満了前に抜本的に改訂

デジタル田園都市国家構想総合戦略(R5年度～R9年度)

【施策の方向】

■ デジタルの力を活用した地方の社会課題解決

- ① 地方に仕事をつくる
- ② ひとの流れをつくる
- ③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 魅力的な地域をつくる

■ デジタル実装の基礎条件整備

- ① デジタル基盤の整備
- ② デジタル人材の育成・確保
- ③ 誰一人取り残されないための取組

聖籠町

第2期総合戦略(R2年度～R6年度)

【基本目標】

- (1) 地域資源を活かした魅力ある産業を形成する
- (2) 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- (3) 住み続けたいまちをかたちづくる

第3期総合戦略(R7年度～)

国の総合戦略を勘案し、策定する
 (構成を含め、R6推進会議にて検討)

名称

「第3期聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略」 とする。

【検討事項】

- 国のデジタル田園都市国家構想総合戦略を勘案し、「〇〇市デジタル田園都市国家構想総合戦略」としている自治体もある。
- 地方自治体に対して総合戦略の策定(努力義務)を求める根拠法は「まち・ひと・しごと創生法」である。
➡ 当町においては、まち・ひと・しごと創生法に基づき、上記の名称とする。

計画期間

「2025年度～2030年度(6カ年)」 とする。 ※ 第2期計画期間：2020年度～2024年度(5カ年)

【検討事項】

- 効率的・効果的な計画策定の観点から、地方自治体の総合計画とまち・ひと・しごと創生総合戦略を一体的に策定する自治体が増えている。
➡ 当町においても、「第6次聖籠町総合計画(2031年度～)」において、前述の一体的な策定を実施する方針であるため、上記の計画期間とする。(「第5次聖籠町総合計画」の終期は2030年度である。)

(2)第3期総合戦略(案) ③基本目標と数値目標

【第2期】

基本目標1:しごとづくり
～地域資源を活かした魅力ある産業を形成する～

町の基幹産業である農業の振興や地域の産業づくり、地域資源や観光資源を活かした交流人口の拡大、工業地帯における立地企業の設備投資による規模拡大と未操業地への企業進出を促進し、地域産業の活性化と雇用の創出を図ります。

数値目標	目標値(2024)	実績
固定資産税収	【2023決算】 31億9千万円	【2023決算】 32億2千万円

施策	内容
	①地域産業の魅力発信と持続できる農業体系整備
	②地域資源を活かした広域連携による観光振興
	③新潟東港を核とした経済振興

【第3期(案)】

基本目標1:しごとづくり
～地域資源を活かした魅力ある産業を形成する～

町の基幹産業である農業をはじめとした地域産業の振興、地域資源を活かした多様な主体との連携による地域活性化、新潟東港工業地帯における立地企業の設備投資や未操業地への進出促進に取り組むことにより、地域経済の活性化を促し、雇用の創出を図ります。

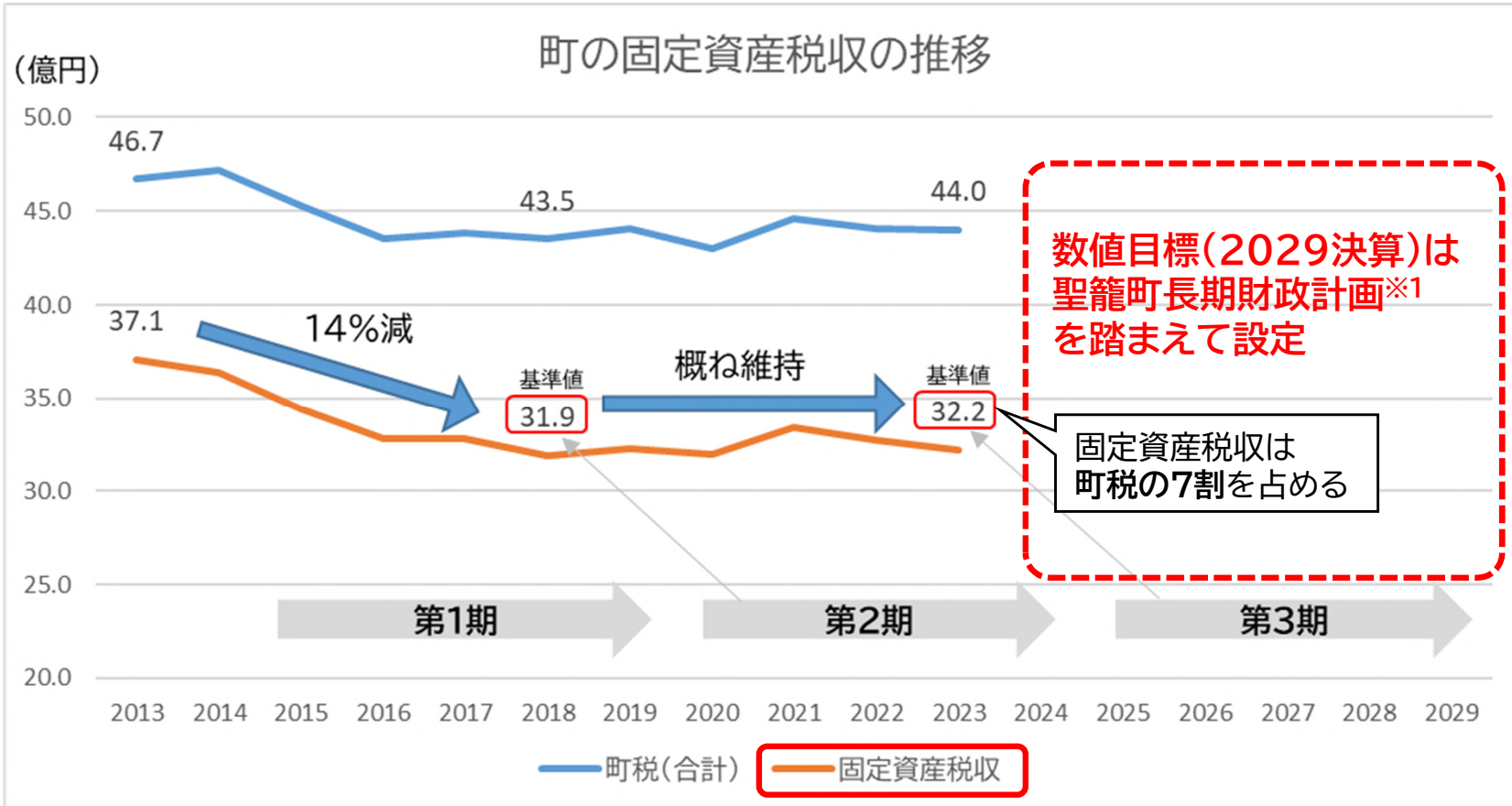
数値目標	基準値	目標値(2030)
【継続】 固定資産税収	【2023決算】 32億2千万円	【2029決算】 (検討中)

施策	内容
	(検討中)

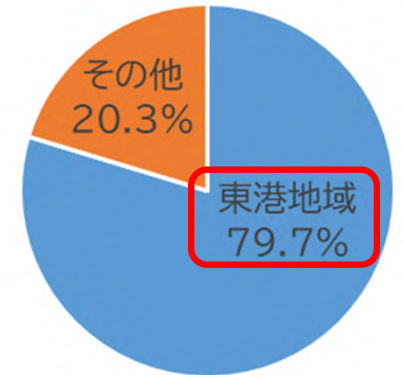
検討状況

- 基本目標及び数値目標は継続とする。
→東港振興などによる地域経済の活性化(その成果としての「固定資産税収」)が、地域産業の維持・発展において極めて重要な役割を担うものである。
- 基本目標1の方向性として「地域経済の活性化により雇用の創出を図る」旨を明記する。
- 農業振興や観光振興については個別事業のKPIにより評価する。

【参考】数値目標「固定資産税収」について



固定資産税収のうち東港地域の占める割合(2023年度)



※1 聖籠町長期財政計画について

計画期間：2021～2030年度

概要：将来の財政見通しを可能な限り明らかにし、限られた財源の重点的かつ効果的な運用を図り、長期的な展望に立って、将来に責任が持てる持続可能な聖籠町の実現に向けて、健全な財政運営の指針とするもの。社会情勢の変化を踏まえて、令和6年度中の見直しを予定している。

出典：聖籠町税概要

検討状況

【数値目標の候補】

- | | |
|------------------------|------------------------|
| ① 町内総生産(第1期の数値目標) | ▶ 即時性に欠ける(結果の把握に2年要する) |
| ② 町内事業所の従業者数(第1期の数値目標) | ▶ 数値の安定性に欠ける(調査回収率が影響) |
| ③ 農業生産額、農業所得(第2期策定時検討) | ▶ 即時性、安定性ともに課題あり |

即時性、安定性の観点から「固定資産税収」を採用(第2期から継続)

(2)第3期総合戦略(案) ③基本目標と数値目標

【第2期】

基本目標2:結婚・出産・子育ての希望をかなえる

結婚したいと望む人たちが希望どおりに結婚ができ、安心して子どもを産み育てられるよう社会状況の変化に応じた出産や子育てのサポート体制を充実させるとともに、子育てと仕事が両立できる環境整備の推進、未来を創る子どもたちへの教育内容の充実を図ります。

数値目標	目標値(2024)	実績
合計特殊出生率	【2019-2024平均】 1.92	【2019-2022平均】 未確定 1.72

2023年分
R6.10公表予定

施策
①結婚の希望をかなえる
②安心して子育てできる家族への応援
③子育てしながら働ける環境整備
④未来を創る子どもの育成

【第3期(案)】

基本目標2:結婚・出産・子育ての希望をかなえる

結婚・出産・子育ての希望をかなえるために各ステップに応じて切れ目のない支援を実施し、安心して子どもを産み育てられる環境の整備を推進します。加えて、未来を創る子どもたちへの教育内容の充実を図ります。

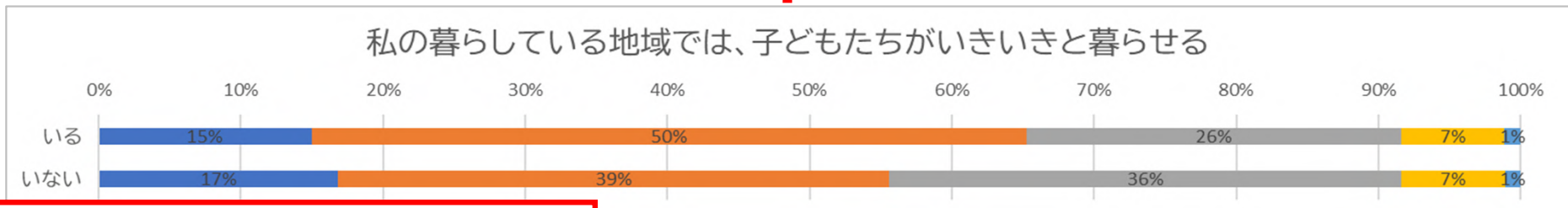
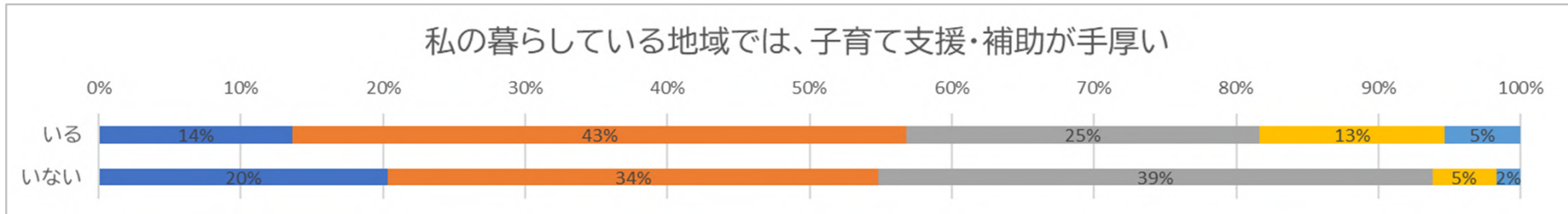
数値目標	基準値	目標値(2030)
数値目標としては取り扱わず 人口ビジョンと一体的に管理		
【新規】 子育てに 対する満足度	【2024アンケート】 61.0%	【2030アンケート】 (検討中)

施策
(検討中)

検討状況

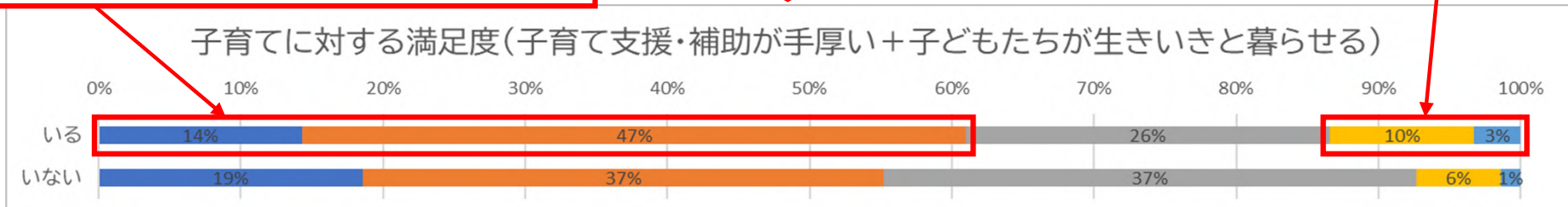
- 総合戦略の目的(人口減少抑制・地域活性化)を踏まえ、**教育施策全般を掲載することについて検討中**
- 地域ビジョンの趣旨(町民の幸福度・満足度向上に向けた取組を着実に実施することで、人口ビジョンの達成につなげる)**を踏まえ、人口動態に直結する「**合計特殊出生率**」は**数値目標とはしない** → 人口ビジョンと一体的に管理し、毎年度実績を整理
- 「子育て施策の充実」を求める町民の声を着実に施策に反映するために、「**子育てに対する満足度**」を**数値目標**とする。

【参考】数値目標「子育てに対する満足度」について



基準値: 61.0%
 → 目標値(2030): 基準値 + 10%以内で検討中

満足度が低い方(あてはまらない)は13%



■ 非常にあてはまる ■ ある程度あてはまる ■ どちらともいえない ■ あまりあてはまらない ■ 全くあてはまらない

出典: 令和6年度居住・幸福度等に関するアンケート調査(聖籠町)

検討状況

- Well-Being指標のカテゴリー「子育て」を構成する「子育て支援・補助が手厚い」、「子どもたちがいきいきと暮らせる」に対して、「非常にあてはまる」又は「ある程度あてはまる」と回答した者の割合の平均を数値目標の基準値として採用する。
 ※ 第2期戦略における施策②「安心して子育てできる家族への応援」のKPI「子育てに対する満足度」とは根拠データが異なる。
 (第2期KPI: 19~39歳の子どもを有する町民で「満足している」又は「まあまあ満足している」と回答した者の割合)
- 子育て世帯の声を着実に施策に反映するため、**子どものいる方の回答に限定**する。
 → 2024アンケートでは「子どもの有無」は、40歳未満のみの設問であったため、上記の回答者も40歳未満に限定されている。
 目標設定にあたっては、**子どもの年齢(4月1日時点で18歳未満)**により、**子どもの有無を定義する方向で検討中**

(2)第3期総合戦略(案) ③基本目標と数値目標

【第2期】

基本目標3:まちづくり ～住み続けたいまちをかたちづくる～

住民の安全で安心できる暮らしを確保し、いつまでも住み続けたいと思ってもらえるまちづくりのために、超高齢社会へ対応する健康長寿への取組強化、地域交通の維持・確保、行政と地域コミュニティや住民との円滑な意思疎通を深めながら地域の防災・減災など安全の確保を図ります。

数値目標	目標値(2024)	実績
住み続けたいと思う人の割合	【2024アンケート】 70%	【2024アンケート】 58.8%
社会増減数 (外国人除く)	【2019-2023】 +69人	【2019-2023】 ▲125人

施策
①地域コミュニティの振興・人材育成
②民間活力を活用した移住・定住の促進
③生涯活躍のまち構想の実現に向けた取組
④地域公共交通手段の確保
⑤防災対策の推進

【第3期(案)】

基本目標3:まちづくり ～住み続けたいまちをかたちづくる～

全年代を対象とした生きがい健康づくり事業の展開、地域防災体制の強化等の取組を町民との協働により推進するとともに、地域交通の維持・確保、デジタル行政サービスの導入等による暮らしの利便性の確保・向上を図り、いつまでも住み続けたいまちづくりの実現を目指します。

数値目標	基準値	目標値(2030)
【見直し】 住みやすいまちだと思 う人の割合	【2024アンケート】 74.6%	【2030アンケート】 (検討中)
数値目標としては取り扱わず 人口ビジョンと一体的に管理		—

施策
(検討中)

検討状況

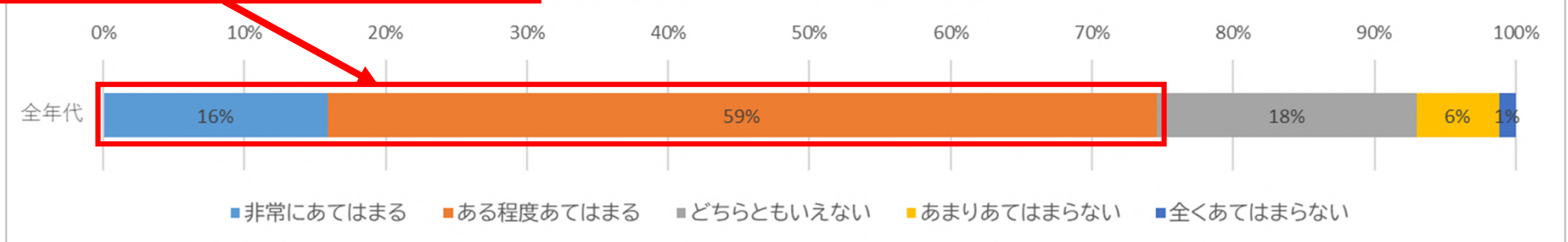
- 町として積極的に推進していく「**生きがい健康づくり事業**」、町民からニーズの高い「**デジタル行政サービスの導入**」等を盛り込む方向で検討中(施策体系の見直し)
- 短期居住者への配慮や転入促進の観点**から、基本目標を「**住みやすいまちだと思**う人の割合」に見直し
- 地域ビジョンの趣旨**(町民の幸福度・満足度向上に向けた取組を着実に実施することで、**人口ビジョンの達成につなげる**)を踏まえ、人口動態に直結する「**社会増減数**」は数値目標とはしない → 人口ビジョンと一体的に管理し、毎年度実績を整理

【参考】数値目標「住みやすいまちだと思ふ人の割合」について

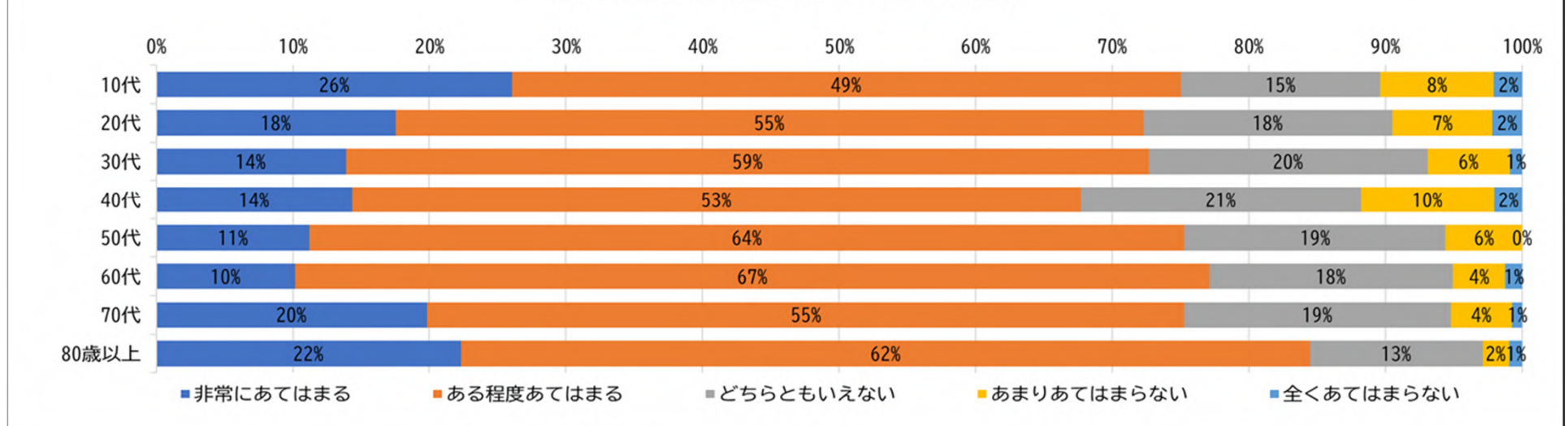
基準値: 74.6%

➡ 目標値(2030): 基準値+10%以内で検討中

聖籠町は住みやすいまちだと思ふ



【年代別】聖籠町は住みやすいまちだと思ふ



出典: 令和6年度居住・幸福度等に関するアンケート調査(聖籠町)

検討状況

- 現時点で7割以上の町民が住みやすいと感じている。
- ➡ デジタル社会の進展など社会情勢の変化に対応して、5年後も同程度の水準を維持することを目標とする方向で検討中

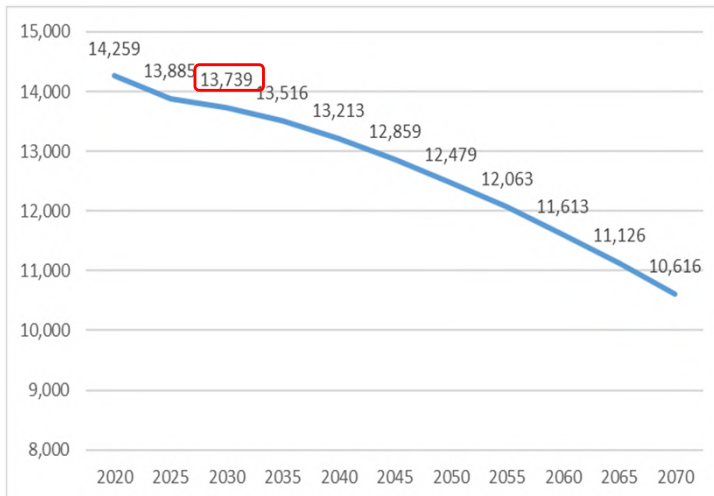
【参考】2030年時点の目標人口(人口ビジョン2025)

【人口動態の参考指標】 人口ビジョン2025(社人研推計準拠)における推計値

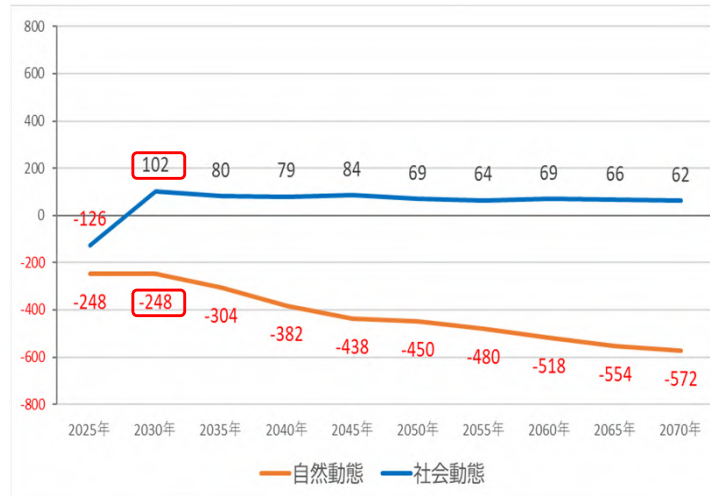
	2020(実績)	2025	2030
総人口	14,259	13,885	13,739
うち外国人	277	(実績管理)	
人口動態(自然+社会)※	-116	-374	-146
うち自然動態	-76	-248	-248
うち社会動態	-40	-126	102
【参考】合計特殊出生率(5年平均)	1.87	1.71	1.76

※ 人口動態は5年間隔での人口増減を表している。(各年の数値は÷5にて算出可能)

【総人口】



【自然動態・社会動態】



【合計特殊出生率】

